

ミデアミックス (V)

CO₂の
排出削減

寒冷期の
施工性向上



中温化アスファルト混合物

私たちの身近にある通常の舗装材料は、加熱アスファルト混合物と呼ばれるもので、その名の通り、アスファルトと骨材を加熱混合して製造します。

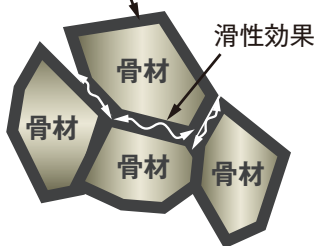
中温化アスファルト混合物とは、品質を確保したまま、加熱混合時の温度を30℃程度低減した加熱アスファルト混合物です。



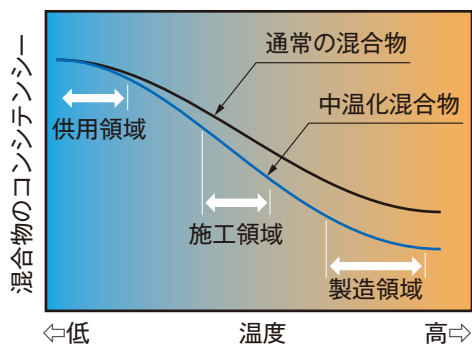
ミデアミックス (V) のメカニズム

中温化アスファルト混合物「ミデアミックス(V)」は、中温化剤を添加することにより、通常よりも約30℃程度以上温度を低減しても所定の品質を確保することが可能となるものです。

アスファルト+粘弾性改善剤 (中温化剤)



粘弾性改善剤の効果により、混合・施工時の骨材間の滑性効果を発揮

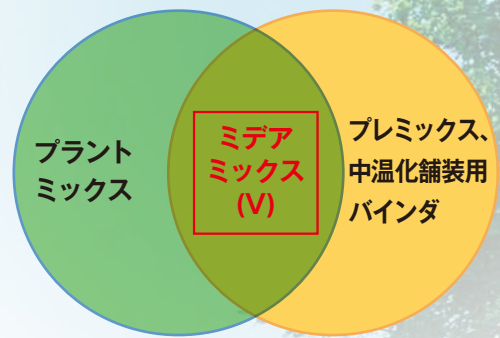


←低 温度 高→

ミデアミックス (V) の特長

- 1 プラントミックス, プレミックス双方の使用が可能※
- 2 寒冷期の施工性改善目的(品質確保), 温度低減(混合物の製造温度をおよそ30°C程度以上低減) への適用が可能
- 3 7時間程度の混合物のサイロ貯蔵が可能(混合物種別や温度条件で異なる)
- 4 ポーラスアスファルト混合物への適用も可能

※アスファルトローリー車に中温化剤を投入することにより、プレミックスバインダとしての取扱いが可能となります。



寒冷期施工への対応 (ロードシミュレータによる実証実験)

寒冷期における品質確保を目的とした実物大の試験施工では、外気温4~6°Cの条件下で、混合物の温度が低下した場合でも、所定の品質を確保していることを確認しています。



項目	設定条件
輪荷重	49kN
トラバース	なし
走行輪数	500輪
走行速度	5km/hr

舗設直後の輪荷重走行試験の様子と試験条件



施工状況

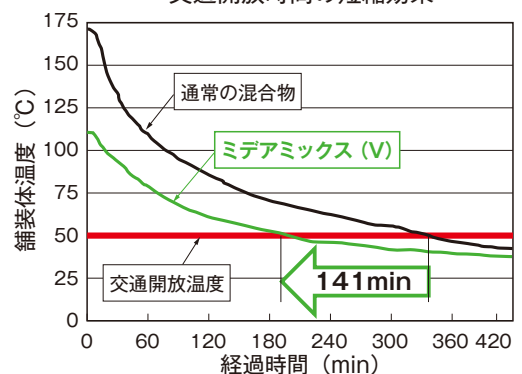
急速施工への対応

限られた制限時間内での打換えを想定した早期交通開放の実証実験では、通常よりも50°C温度低減させた混合物を適用することにより、141分の短縮効果があることを確認しています。

【適用事例】

- ・大粒径混合物(30) : 改質Ⅱ型As
- ・施工厚 : 12cm
- ・外気温 : 20°C

交通開放時間の短縮効果



地球にやさしい技術力

鹿島道路 <http://www.kajimaroad.co.jp/>

本社 〒112-8566 東京都文京区後楽1-7-27 (後楽鹿島ビル)
 技術営業部 03-5802-8011 技術部 03-5802-8014
kr_sales@kajimaroad.co.jp



北海道支店 011-699-7744 東北支店 022-216-8501 関東支店 048-872-8002
 東京支店 03-5802-8021 横浜支店 045-312-8061 北陸支店 025-243-3851
 中部支店 052-204-0770 関西支店 06-6910-3701 中国支店 082-567-4567
 四国支店 087-885-5800 九州支店 092-451-4356 技術研究所 042-483-0541

担当者